

## 8月のコロナ感染状況について

「コロナ」の文字にまたか、と思われる方もおられるかと思いますが、7月の終わりから全国で急激に増えた感染者の数は、やや減少傾向にあるとはいっても、まだ、安心できる状況とは言えないところです。

8月の法人からのお知らせにもありましたが、入所施設ではクラスター発生となり、ご利用者様、支援に入った職員が感染しました。ご利用者様の中には、入院が必要かと思われた方もおり、また、職員には療養期間が終わっても咳などの症状が続いたり、体調不良が続いている方もおられます。

通所事業所におきましても、8月上旬には事業所を休所し、皆様にご迷惑をおかけしたところです。

実際に感染した方の中には、発症時に38度を超える発熱や喉の痛み、咳、鼻水、体の痛み、倦怠感などの症状がみられる方から、37度前後の微熱程度の方もおられました。また、無症状でしたが、検査の結果陽性とわかったというケースもあり、現在も体調不良の報告があることに気をもむ日々が続いております。

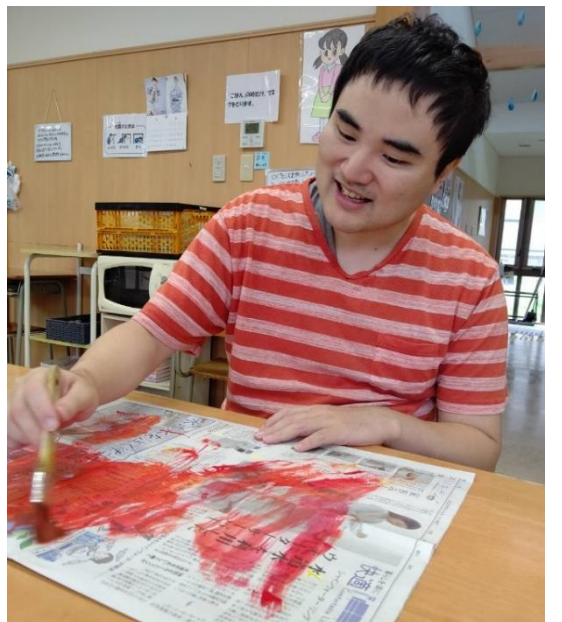
職員には、喉の痛みや咳などのちょっとした違和感があったときには報告し、医療への相談を行うようにし、早期発見と感染予防に努めているところです。

通所事業所をご利用の皆様には、これまで同様毎日の健康観察と症状があった場合のご連絡をお願いいたします。また、同居のご家族の方の体調不良等に関しましても、ご連絡いただき、感染予防へのご協力をお願い申し上げます。(前田)

## 秋 深まります

9月になりましたね。変わらず暑い日は続いていますが、だんだん秋らしいカラッととした気候になってきていますね。いつもお散歩で通る黄金色の海から稲穂の匂いが漂い、秋の新米が楽しみになってきました。

さて、みらい科では秋になったので夏の装飾から秋の装飾に。みんなで合同制作をしました。使うものはダンボールに新聞紙に絵の具に筆。これを使って一体何が出来るのでしょうか。矢野恭寛さんは新聞紙に赤やオレンジ、黄色の絵の具を、ダイナミック塗っていきます。迷いなく色づけする様子は有名画家のようです。



また、ダンボールにも茶色や黒などの色を塗っていきます。色塗りの他にもみんなで分担し、作業をしていきます。色付けされた新聞紙をハサミで切るのは武藤智一さんと加藤孝弘さん。ハサミを使い上手に切っていきます。そして、小出康太さんは色付けされた新聞紙をちぎっていきます。色付けしたダンボールを木の幹に見立てザクザクと切っていきます。みんなで茶色で塗った木の幹と紅葉の葉っぱ、ちぎった落ち葉を合わせると、大きな紅葉した木が完成しました。

みらい科へ秋を探しに来てはいかがでしょう。ぜひお待ちしております。(尾池)



## 9月のイベントは

みらい

19日の作業科イベントでは関東旅行ツアー第二弾を開催致します。今回は群馬県サファリパーク、神奈川県水族館、千葉県牧場を巡るツアーです。サファリパークでは人気のアトラクション、動物達の餌やり体験に参加します。秋の行楽シーズンに向けて紅葉がきれいに色付いています。今から楽しみですね。テーマパークについても順調に進んでおり、キリンやカバ、ライオンなどの動物たちがサファリパークに入館。水族館にはタコ、かめ、マンボウ、カニに加え、クリオネやカクレクマノミなども新たに展示予定。絶対的人気のペンギンも必見です。

また、23日には秋のスポーツ大会、パラスポーツ競技「ボッチャ」をして楽しむ企画もありますので西日ともに皆様のご参加お待ちしております。(鈴木)

簡易加工科・公共事業科

9月23日の余暇活動は簡易加工科・公共事業科合同で行ないます。

皆さん、ピンボウリングってご存じですか。ピンボウリングは数字の書かれたピンにボールを当てて倒したピンに描かれてある数字が得点になります。ピンにボールが当たると豆のようにはじける様子からピンボウリングと名付けられたようです。コントロールやバランスを競う競技で体格や体力に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。お楽しみになってください。

だれでもピカソ

9月23日の誰でもピカソ作業科イベントは、サイコロすくすくしもふさ七福神巡りを企画しています。



当日は、手作りのサイコロを振り出た目の場所に向かう。次はどこに行くのかドキドキ、ワクワクしながら周る行く先は運任せの七福神巡りを考えています。

また各ポイントで参拝後に、手作りの御朱印ならぬ、手作りステッカーをこねまた、手作りの御朱印帳に貼っていくという目に見えてステッカーが増えていく楽しみを味わっていただけだとは思いますが。全部のポイントでステッカーを貼ることができたら、何か良いことがあるかも。当日のお楽しみです。利用者さんが毎日コツコツとサイコロ作り、御朱印帳やステッカー作りに励んで下さっており、イベントを楽しみにしている様子が伺えます。今回の企画も

手作りがたくさんさんのピカソイベントになりそうです。

皆さんの想像力は素晴らしい、オリジナリティ溢れています。まさにピカソのイベントは手作りが醍醐味ですね。

コロナ禍で迎える3度目の秋、なかなか思うような外出イベントができずにいます。少しでも気持ちのリフレッシュ出来るイベントを考え楽しい活動ができればと思います。(小笠原)

## お月見弁当

9月10日はお月見ですね。9月の10日、1日早いですがこの日のお月見はなんとお月見弁当。朝から献立表にみんなで張り付き、「楽しみだね」とちらほら話し声が。午前中はお仕事しながら、今日のお月見飯の話に花を咲かせます。

午前中のお仕事が終わると待ちに待ったお月見飯の時間。へーとお腹が鳴ってペコペコ。お弁当箱を開けると、ほのかに香る梅の香り。ピンク色に彩られた梅ひじきご飯。一口食べるとほんのり甘い鮭の西京焼き。彩りのある煮物の他に、きんぴらごぼうやシューマイなどの沢山のおかずが。みんなで美味しくいただきました。

さてここで、十五夜に関して豆知識を。古来から月を愛でる風習は日本にもありましたが、十五夜のお月見が広まったのは平安時代。中国から日本へ伝わり、貴族の間に広がっていききました。月を眺めながらお酒を飲んだり、船の上で詩歌や管弦を楽しんでいたそうです。庶民の間にも十五夜の風習が広まったのは、江戸時代に入ってからだそうで、無事に稲を収穫できた喜

びを分かち合い、感謝する日だったそうです。

厨房さん、いつもご飯の時間に楽しく食べている利用者さんの笑顔と美味しいご飯をありがとうございます。



## エイサー練習

残念ながらアーアンドデイだいたい祭りには中止となりましたが、12月のさわやか芸能発表会に向け、エイサー練習に一層力が入るところです。秋空に元気な掛け声が響いています。

## 編集後記

9月に入り、まだまだ残暑が厳しい今日この頃ですが、アーアンドデイの周りでは田んぼ風景が広がり、トンボが飛んでいます。段々、夏から秋に変わりますね。秋になるとお月見や稲刈りがあって、私にとっては食欲の秋です。

私が茨城の実家にいた時は十五夜にお団子をお供えするのに、白玉粉からお団子を母や祖母が作っていました。お団子作りを手伝って「お団子田当てしよ。知ってるんだから。」とよく冗談半分で行われたものでした。お団子を丸めてから沸騰したアツアツのお湯でゆでると、お湯の中で丸めたお団子がぶかぶかぶかぶかと浮いてきて、もつすべでくるんだなと目を輝かせてお鍋の様子を見ていたのを思い出します。食欲があつて元気に美味しく食べられるのって幸せなことですね。

全国的なコロナウィルス感染で私の身近な人も感染し、後遺症の話などを聞きますます健康であることのありがたさを感じます。

9月の作業科イベントでは各作業科、皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画しています。コロナ禍ではありますが、三密を避けながら楽しめるようにしていきます。

毎日楽しみを感じながら利用者さんと過ごせることはとても幸せなことです。私は食ですが、絵画やスポーツ、皆でそれぞれの秋を楽しみましょう。

(飯島)

## 9月の予定

19日 開所日  
(育成会例会中止)

23日 開所日  
作業科イベント

## 10月の予定

1日 開所日

10日 開所日

22日 開所日

30日 休所

※10月の開所日変更になります

22日→開所日・30日→休所日